

<平成 29 年度第 8 回日本看護技術学会理事会議事録>

日時：2018 年 3 月 10 日（土）13：00-15：00

場所：聖路加国際大学 5 階 506 教室

出席者：理事；武田 利明（理事長）

渡邊 順子、佐伯 由香、水戸 優子、縄 秀志、高橋 有里

監事；三上 れつ

大会長；本庄 恵子（16 回）、角濱 春美（17 回）

事務局；伊津野 統久（株）春恒社

欠席者：理事；大久保暢子、吉田 みつ子、藤井 徹也、篠崎 恵美子、

監事；小板橋 喜久代

（順不同、敬称略）

【議事録案の承認】

1. 平成 29 年度第 5 回（書面）、第 6 回（書面）、第 7 回（書面）理事会議事録案の承認
異議なく承認した。

【報告事項】

1. 庶務報告

平成 30 年 2 月 28 日現在の会員状況を確認した。高橋理事より日本医療安全調査機構センター調査個別調査部会の進捗状況、2017 年度に受領した 2 件の寄付金および他学会への協賛について報告された。

2. 平成 29 年度委員会報告

1) 学会誌編集委員会

佐伯委員長より投稿論文の投稿・査読状況が報告された。専任査読委員 8 名の追加について検討され承認された。検討事項として投稿規定案が提示され投稿手続きについて書面理事会で検討する事となった。

2) 研究活動推進委員会

水戸委員長より平成 29 年度活動報告として、第 16 回学術集会大会賞ならびに座長推薦演題の選出、卒業研究交流セッションの実施、研究助成の実施について報告があった。看護実践者や若手研究者の研究活動推進事業について今後の方針が検討された。また検討事項として平成 30 年度事業計画が以下検討され、異議無く承認された。

(1) 学術集会大会賞ならびに座長推薦演題の選出、論文投稿の推進

・名称の変更を諮りたい。大会賞⇒学術集会最優秀賞、座長推薦演題⇒学術集会優秀賞演題としたい。

・大会賞の選出基準を見直したところ、プログラム委員と座長による採点にばらつきが出る可能性を考えて以下の①②のように変更したい。

⇒①座長採点：5 点×4 項目＝20 点（新規性、完成度、発表のわかりやすさ、質疑応答。

発表媒体完成度を削除する）

②プログラム委員抄録採点は 5 点×2 項目×2 倍=20 点 の合計 40 点で採点する。

(2) 卒業研究交流セッション優秀賞の選出

・名称の変更を諮りたい。優秀賞⇒卒業研究交流セッション最優秀賞とし、発表演題が多い場合は、優秀賞を増やしたい。

(3) 第 17 回学術集会時の大会賞者と卒業研究交流セッション優秀賞者への表彰

(4) H31 研究助成の募集と選考

研究助成の審査方法等の見直しを行う。

(5) 看護実践者や若手研究者の研究活動推進事業の企画、実施

看護実践者については、技術研究成果検討委員会と協働して、グループの発表等の場を紹介、研究参加の推進を行う。若手研究者の時間、活動場所の確保を行うとともに、広報活動を行う。

3) 技術研究成果検討委員会（看保連関係を含む）

大久保委員長欠席のため高橋理事より代理で平成 29 年度活動報告として 5 つのグループの研究活動について報告された。診療報酬に関する活動について縄副委員長より報告された。また診療報酬化について看護技術学会として今後の活動方針について議論され検討された。

4) 広報委員会

藤井委員長欠席のため高橋理事より代理で平成 29 年度活動報告として学会ホームページ維持管理関係、ニュースレターの発刊および郵送、ニュースレターおよび学会ホームページに関する調査について報告された。

3. 看護系学会関連団体との連携

特になし。

4. 第 16 回学術集会報告

本庄恵子第 16 回学術集会大会長より開催報告があった。プログラムはキーセッション 4 題、特別講演 2 題、シンポジウム 1 題、一般演題 64 演題、交流セッション 10 演題、卒業研究交流セッション 18 演題、参加者数は 832 名であった。また収支決算について報告があった。学会への寄付金 200 万円弱について臨床と教育研究者が繋がるよう用途を確認した。

5. 第 17 回学術集会の準備状況

角濱春美第 16 回学術集会大会長より開催概要について報告があった。会期は平成 30 年 9 月 8 日（土）～9 日（日）、会場は青森県立保健大学を予定している。

6. その他

特になし。

【検討事項】

1. 入退会審査

入会申込者 7 件、退会届提出者 27 件が提示され、承認を行った。

2. 平成 29 年度決算見込／平成 30 年度予算案

篠崎会計担当理事欠席のため高橋理事より平成 29 年度決算見込について説明があった。第 16 回学術集会および看護技術研究会からの寄付金は一般会計ではなく学術基金特別会計の収支へ反映させることとなった。続いて平成 30 年度予算案について技術研究成果検討委員会支出に 30 万円を追加計上し、評議員会支出を 100 万円に修正する事が検討され、異議無く承認された。

3. 寄付金の活用方法について

看護技術研究会からの寄付金は 20 周年特別事業に活用し、第 16 回学術集会からの寄付金は次回理事会で検討していくこととなった、

4. 平成 30 年度第 1 回社員総会の日時、会場、内容について

下記日時にて理事監事へ出席可能日を調査し、開催日時を決定することとなった。

- ・ 2018 年 6 月 26 日（火）16 時 00 分～17 時 30 分
- ・ 2018 年 6 月 28 日（木）16 時 00 分～17 時 30 分

5. その他

平成 30 年度会員総会については、第 17 回学術集會会期中の 1 日目の昼に開催することになった。